

相談内容①

・アトピー（大人）季節により変動があり、秋口に特に重症化して喘息まで発症するが、何か対策できることはあるか？

回答①

・アトピー性皮膚炎：プロアクティブ療法といって、悪くなる前から予防していく外用療法が勧められています。悪化時期が分かっているのであれば、より取り組みやすいかと思います。

相談内容②

・息子が慢性蕁麻疹でセチリジンを2年ほど服用しています。いまだ治りません。近医からは薬の飲み方を指示されず自己流でと言われて1日1~2回飲んでいますが完治しません。効果的な服用方法ありますか？

回答②

・蕁麻疹のメインの治療薬は抗ヒスタミン薬ですが、たくさんの薬剤があります。1種類飲んで治まらないのであれば、増量、他剤併用などで対処し、「飲んでいけば全く出ない」ところまでもっていくのが最初の目標になり、そのあと「減量していても出ない」「飲まなくても出ない」を目指していくことになります。

相談内容
③

・ 去年引っ越しをして、2週間前から両手に水疱が出来ている。

回答
③

・ 手の水疱は湿疹（洗剤など触るものや自分の汗へのかぶれ）の症状です。思い当たる誘因があれば、避けていきましょう。

相談内容④

・夫がアトピー性皮膚炎です。いろいろ皮膚科に行きましたが改善したことがありません。育ちざかりの息子もいるため、どのような食事を摂ったらよいのかわかりません。

回答④

・アトピー性皮膚炎で食べてはいけない食物はありません。その点には神経質にならずにお過ごしください。

相談内容
⑤

・15年位手などの皮膚病に悩まされています。皮膚科に何件も行きましたが未だに治りません。

回答
⑤

・手の湿疹は、誘因が千差万別で、個別の生活を見直してみる必要があります。一方、いわゆる「悪循環」で、荒れた手で触れるものが何でも刺激にもなりますので、特定の悪化要因はないかもしれません。根気よく対症療法を続ける必要があります。

相談内容
⑥

・私は日光アレルギーですが、毎年春先から生活にとっても苦勞しています。対策と治療法について是非教えてください。よろしくお願いします。

回答
⑥

・治療法は出ている皮膚症状に応じます。基本は遮光ですが、紫外線ではなく可視光線に反応する人もいるので、日焼け止めを塗るだけでは不十分で、帽子や服などで物理的に光を避けることが必要です。

また、家の中にも光は入っていることに注意してください。

相談内容⑦

・現在、高校生の息子がアレルギーの治療をはじめて10年以上治療をしていますが、良い方向に向いているのかわかりません。ちょうど神奈川県で食物負荷試験がはじまったこともあり、インターナル内服薬を服用後、医師の指示のもとある程度のもは食べさせることになり現在に至ります。いまインターナルも飲まなくなりいろいろ食べていますが、肘や膝、首などは無意識に掻いてしまうようで痒みはとれないようです。現在は皮膚科に通いアレロックのみ服用してステロイドを塗っていますが、あまり効いている感じがしません。今後の治療の方向性を模索しております。良きアドバイスがございましたらご指導お願い申し上げます。

回答⑦

・アトピー性皮膚炎で食物アレルギーによるものは、乳児患者の一部だけです。高校生で食物に過敏になる必要はありません。また、治療薬としては、アレロックなどの抗アレルギー薬は、花粉症や蕁麻疹には特効薬ですが、アトピー性皮膚炎にとってはごくごく少しの効果しかない補助薬です。まずはしっかりとした外用療法を行いましょう。